

令和6年度 第2回中央区区政会議 会議録

1. 日時 令和7年3月18日（火）午後6時30分～午後8時00分

2. 場所 中央区役所 7階703・704会議室

3. 出席者

（区政会議委員）

麻野委員、浅宮委員、小畠委員、兼岡委員、清田委員、葛本委員、城委員、
高山委員、富田委員、中川委員、古川委員、古道委員、堀井委員、前田（葉）委員、

（市会議員）

野上議員、塩中議員

（中央区役所）

稲嶺中央区長、小林中央副区長、柴崎総務課長、釜野魅力推進課長、
三島区政企画担当課長、大西市民協働課長、平田市民活動支援・教育担当課長、
皆川窓口サービス課長、上野国保収納担当課長、村上保健福祉課長、
谷川子育て支援・保育担当課長、山内保健主幹

3. 会議次第

1 開会

2 区長あいさつ

3 議題

- （1）中央区将来ビジョン2023～2027の中間振り返りについて
- （2）中央区将来ビジョン2023～2027の中間見直し（案）について
- （3）令和7年度中央区運営方針（案）について
- （4）令和7年度中央区役所歳出予算（案）の概要について
- （5）中央区地域福祉ビジョン2023～2025の実現に向けた
令和6年度（2024年度）の取組状況について
- （6）中央区の教育環境について
- （7）その他

令和6年度第2回中央区区政会議

令和7年3月18日

【三島区政企画担当課長】

定刻になりましたので、ただ今より令和6年度第2回中央区区政会議を始めさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

私、本日の司会を務めさせていただきます区政企画担当課長の三島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは開会にあたり、稲嶺区長よりご挨拶を申し上げます。

【稲嶺区長】

いよいよ任期4年を終えようとしております、中央区長の稲嶺です。この4年間、委員の皆さまから色々な意見を頂戴したいという思いがありまして、区政会議のやり方を工夫してまいりました。特に今年度につきましては、12月にラウンドテーブルを開催し、「子育て／子どもの学び」、「にぎわい／防犯・環境浄化」、「地域福祉」、「防災」の4つのテーマに分かれて委員の皆さまと大変活発な意見交換を行い、貴重なご意見を多数頂戴いたしました。お忙しい中、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。いただいたご意見を参考にしながら、本日の議題2である「中央区将来ビジョン2023～2027の中間見直し（案）」を作成いたしました。

本日の区政会議では、議題1の「中央区将来ビジョン2023～2027の中間振り返りについて」から議題（6）「中央区の教育環境について」までご説明させていただくため、スムーズに進めさせていただきたいと考えております。

「中央区将来ビジョン2023～2027」につきましては、区政会議委員の皆さまのご意見を頂戴しながら1年をかけて策定し、中央区長として、その実現に向けて取り組んでまいりました。

ちょうど次年度が中間の年・区長の交代の年ということや、コロナ禍の収束による社会状況の変化などもあり、中間振り返りを行い、振り返りを踏まえた見直しをしました。

続きまして、毎年策定しております令和7年度中央区運営方針（案）と令和7年度中央区役所歳出予算（案）のご説明、地域福祉ビジョン2023～2025の令和6年度の取組状況についてもご報告します。

最後に議題6「中央区の教育環境について」ですが、中央区では人口倍増に伴い児童生徒数も増加しており、小中学校が収容することが出来ない状況が問題となっております。

そのことにつきましても皆さまにご報告を行い、ご意見を頂戴したいと考えております。

今回は議題数が多くございますが、委員の皆さまには、忌憚のないご意見、ご質問をいただきたいと思いますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【三島区政企画担当課長】

ありがとうございました。

それでは、本日、会議で使します資料の確認をお願いいたします。

この度は、事前に、次の資料を送付させていただいております。

会議資料次第、がございまして、次第の裏面に、資料の一覧を掲載しております。

【資料１－１】大阪市中心区将来ビジョン2023～2027

【資料１－２】大阪市中心区将来ビジョン2023～2027の中間振り返り

【資料２－１】ラウンドテーブル2024

【資料２－２】ラウンドテーブル2024でいただいた主なご意見

【資料２－３】大阪市中心区将来ビジョン2023～2027【2025年中間見直し版】（案）

【資料３－１】令和7年度市中心区運営方針案の公表

【資料３－２】令和7年度運営方針案について

【資料４－１】令和7年度市中心区役所歳出予算（案）の概要

【資料５－１】市中心区地域福祉ビジョン2023～2025の実現に向けた令和6年度の取組状況について

【資料６－１】市中心区の教育環境について

以上、10点となります。

また、本日、お手元に、お配りさせている資料でございます。

まず、事前にお送りさせていただいた資料について、修正等があったものをお席にお配りしております。

【資料１－２】大阪市中心区将来ビジョン2023～2027の中間振り返り

【資料２－３】大阪市中心区将来ビジョン2023～2027【2025年中間見直し版】（案）

【資料３－２】令和7年度運営方針案について

【資料４－１】令和7年度市中心区役所歳出予算（案）の概要

【資料５－１】市中心区地域福祉ビジョン2023～2025の実現に向けた令和6年度の取組状況について

以上、5点でございます。恐れ入りますが、資料の差し替えをお願いいたします。

次に、本日追加で配布させていただく資料といたしましては、「出欠者名簿」、名簿の裏面が「配席図」となっております。次に「市中心区地域福祉ビジョン2023～2025（概要版）」、「2025年日本国際博覧会のパンフレット」、最後に「区政会議に関するアンケート」の4点でございます。アンケートにつきましては、会議終了後にご提出をお願いいたします。

不足の資料がありましたら、挙手いただけますと、事務局の者がお持ちいたしますのでお申し出ください。

この区政会議は、公開の会議でございます。傍聴や取材を許可しておりますこと、また、会議録作成用の録音や動画配信用の撮影などについて、ご了承くださいますようお願い申

し上げます。

これより議事に移ります。前田議長どうぞよろしくお願いいたします。

【前田（葉）議長】

みなさま、こんばんは。お足元が悪い中、ご出席いただきありがとうございます。本日は議題が多いようですが、どうぞ最後までよろしくお願いします。それでは、議事に入らせていただきます。

まず、本日の区政会議につきましては、委員定数20名のうち、現時点における出席委員は12名でございます。

条例第7条に基づく定足数である2分の1以上を満たしておりますので、本会議は有効に成立しておりますことをご報告申しあげます。

また、本日は議題が多数ございますため、区役所からご説明する各議題へのご意見・ご質問は、議題の間にも適宜お時間を設けますが、全ての議題終了後にお時間を設けて、お一人ずつご意見等をお伺いしたいと思います。

それでは、議題（1）の「中央区将来ビジョン2023～2027の中間振り返り」について、区役所より説明をお願いします。

【三島区政企画担当課長】

「中央区将来ビジョン2023～2027の中間振り返り」についてご説明いたします。

資料は、「資料1－1 大阪市中央区将来ビジョン2023～2027」「資料1－2 大阪市中央区将来ビジョン2023-2027の中間振り返り」の2点でございます。「資料1－2」を用いてご説明をさせていただきます。

表紙をめくっていただきますと、上下見開となっております。上のページには、上段より、将来ビジョンの4つの柱ごとの項目、戦略の方向性、令和5年度及び6年度の主な取組実績、区長のこれまでの取組内容・実績に対する自己評価を記載しております。下のページには、参考に、主な取組の中から写真などをピックアップして掲載しております。

それでは、ご説明に入らせていただきます。

「1－1 にぎわい」については、多彩な魅力の創出と情報発信による持続的なにぎわいづくりに向けて、万博機運醸成イベントの開催やにぎわいスクエアの開催、にぎわい情報サイト「大阪中心」の運営などを実施しました。

自己評価におきましては、にぎわい情報サイト「大阪中心」によりイベント情報などを発信し集客性を高めるとともに、区民の皆様と来訪者の回遊性を高めるため、商店会と連携したデジタルスタンプラリーを開発できたことで、まちの魅力を効果的に発信することができており、中央区のにぎわいづくりに寄与できている、また、万博の機運醸成についても市内中心部に位置する中央区の役割を十分に果たすことができたと考えております。

「2－1 防災」につきましては、マンション防災を軸とした災害に強いまちづくりに向け

て、マンション防災講演会や出前講座の実施、また、地域防災リーダー訓練・研修など自主防災の取組への支援を行いました。様々な防災に関する課題がある中で、中央区の特性を踏まえマンション防災を中心に取組を推進してきました。なお、防災に関する取組は、成果・効果が顕著化するものでなく、地道な防災対策の必要性の啓発を継続していく必要があると考えております。

「2-2 防犯・環境浄化」につきましては、まちを愛する区民とつくる安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに向けて、万博の機運醸成と連動した商店会や企業、関係団体等との協働による環境浄化活動や、警察・地域と連携した防犯活動や啓発などを実施しました。御津・大宝地域では、住民自らの発案により、南警察署、建設局、区役所が参画する「環境美化夜間合同パトロール」が実施されテレビニュースになるなど注目を集めています。これらの住民活動が放置自転車のリアルタイム撤去等につながったものと認識します。また、環境美化活動も万博を機運として活発化しており、今まで以上のボランティアの参加が得られており、公民連携による環境浄化の機運が醸成されつつあると認識しています。

「3-1 子育て」につきましては、安心して子育てができる環境づくりに向けて、訪問支援員のアウトリーチによる区内保育施設等との連携・ネットワークの拡充、子育て相談会パンジーひろばの開催などを実施しました。令和5年度より訪問支援員を配置し、アウトリーチにより区内の全ての保育所等と連携できたことにより、新たに見守りや支援に繋がった子ども・世帯の数は205件と重大な児童虐待防止のためのネットワークの拡充は着実に進んでいると認識しています。パンジーひろばや講座の開催、子育て支援情報の発信など、引き続き安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいく必要があると考えます。

「3-2 子どもの学び」については、子どもや学校を応援する学びのネットワークづくりに向けて、不登校児童・生徒への登校支援等を目的としたサポーターの配置や外国につながる児童・生徒や保護者へのサポート等を実施しました。サポーターによる登校支援等を実施した児童・生徒に登校の再開などの改善がみられる割合は70%と効果が表れています。また、学校に配置したサポーターが外国につながる児童・生徒に寄り添い、支援することで安定した学校生活を送れている、保護者や若者の困りごとに寄り添い、個別の事情に応じた助言をすることで、孤立を防ぎ、地域での交流など共生に繋がっていると考えています。

「4-1 地域コミュニティ」につきましては、つながり、ふれあう豊かなコミュニティづくりに向けて、地域活動協議会活性化セミナーの開催や地域活動促進に向けた助言・支援など地域活動協議会への継続した支援や様々な地域活動情報の発信を行いました。まちづくりセンターによる地域活動の運営支援を継続するとともに、令和6年度からシンプルかつ地域が使いやすい補助制度に見直すなど、安定的な地域支援を維持・継続できています。また、9割以上がマンション等共同住宅居住者である区の特性、ライフスタイルの変化、価値観が多様化する中で、マンション住民を中心とした地域コミュニティの維持・活性化に向け、町会加入促進アクションプランの取り組みを推進するとともに、引き続き様々な地域活動情報の発信強化を図ってまいります。

「4－2 地域福祉」につきましては、健やかでいきいきと暮らせるまちづくりに向けて、見守り相談室によるアウトリーチの充実やいきいき百歳体操等の介護予防活動の支援、医療介護連携の強化に取り組みました。見守りコーディネーターによる相談件数は年間約15,000件と見守り相談室や支援機関と地域が連携し支援を必要とする人の把握や支援は進んでおり、個別の支援における支援機関の連携強化が図られてきています。また、いきいき百歳体操等の登録者数は令和4年度379人から令和6年度末には500人に増加するなど介護予防活動は徐々に広まりがみられます。

総括としましては、区民の声をしっかりと受け止め、区政に活かせるよう、あらゆる場面で区民の声を聴くように努めてまいりました。共同住宅の居住者が9割を超える中央区の特性をふまえ、マンションコミュニティに対する防災に力を入れ、防災訓練や出前講座などを通じて、防災意識の向上に取り組んできましたが、まだ端緒であると考えております。当区では近年、人口増加が進み、特に児童・生徒の急増による学校の収容対策が喫緊の課題となっており、早急に安全・安心な学習環境の整備に取り組んでいく必要があると考えております。

【前田（葉）議長】

ありがとうございました。続きまして、議題（2）の「中央区将来ビジョン2023～2027の中間見直し（案）」について、区役所より説明をお願いします。

【三島区政企画担当課長】

「中央区将来ビジョン2023～2027の中間見直し版（案）」についてご説明いたします。

資料は、「資料2－1 ラウンドテーブル2024」、「資料2－2 ラウンドテーブルでいただいた主なご意見」、「資料2－3 大阪市中央区将来ビジョン2023～2027中間見直し版（案）」の3点でございます。

資料1は、昨年、12月に開催しましたラウンドテーブル2024において、中央区将来ビジョンのアップデートにあたり、委員の皆様と区長の意見交換をさせていただいた際の会議資料、資料2は、ラウンドテーブルでの主なご意見等を回次ごとにまとめたものとなります。

本日は、時間の都合もあり、ラウンドテーブルの資料については説明を割愛させていただきますが、適宜ご参照いただければと存じます。

それでは、「資料2－3」を用いてご説明をさせていただきます。表紙をめくっていただきまして、1ページでございます。改めてとなりますが、将来ビジョンは、区政を運営していく上で、区のめざすべき将来像と、その実現に向けた施策展開の方向性などをとりまとめ、区民の方々に明らかにするものです。現行の将来ビジョンは、令和5年度から9年度までの5年間の施策展開の方向性などを示したものです。また、単年度ごとのアクションプランとして、後の議題でご説明させていただく中央区運営方針を毎年度策定しております。

この度の「中央区将来ビジョン2023～2027の中間見直し」は、現行のビジョンの策定から

2年が経過し、コロナ禍の収束やインバウンドの回復などの影響による社会情勢の変化が認められることから、現状に即したものとなっているかなどの視点によりアップデートするものです。2ページから7ページには、中央区の概要について記載しております。こちらにつきましては、現行ビジョンから特段の変更はございませんが、人口について、一部、新しい数値があるものをアップデートしております。4ページをご覧くださいと、人口は平成2年と令和7年を比較すると2.1倍、世帯数は3.0倍と増加が続いております。また5ページ下の外国人人口は令和4年3月時点の8,545人から令和6年12月時点では12,352人、7.8%から10.1%と増加をしております。また、8ページの「私たちがめざす将来像」、9ページ「基本方針」、10ページ基本方針に沿ったまちづくりの4つの柱について変更はございません。それでは、柱ごとの主な変更点について、ご説明させていただきます。

「柱1 繰り返し訪れたいにぎわいのまち」、「1-1 にぎわい」について、12ページをご覧ください。現状については、現行のビジョンでは、コロナ禍における観光需要の激減による深刻なダメージについて記載しておりましたが、コロナ禍の収束や訪日外国人観光客（インバウンド）の増加の現状を踏まえ、変更を行いました。また、本年開催される大阪・関西万博による国内外からの観光客の増加が予想されることについても記載しました。

課題につましても、コロナ禍のダメージからの再生についての記載を削除するとともに、「大阪・関西万博のその先をも見据え」を追記し、次の「中央区に存在する歴史的・文化的価値のある観光資源の魅力を広く発信するとともに、内外から多くの人に繰り返し訪れてもらえるような環境を整備していく必要がある。」も追記しました。

13ページ、戦略の方向性についても、万博の機運醸成から万博の開催に変更を行っております。

次の14ページ「1-2 防犯・環境浄化」につきましては、現行のビジョンでは「柱2 安全・安心で快適に暮らせるまち」の中の項目となっておりますが、にぎわいとまちの環境課題は両輪の課題であることから、この度、柱1の項目にいたしました。

現状については、時点修正を行っていますが、状況の変化はございません。

課題については、2行目の「にぎわいが増す一方で、放置自転車や路上喫煙の問題など、まちの環境が課題となっている。万博開催に合わせた路上喫煙禁止エリアの拡大をふまえた対策を行うとともに、自転車利用の適正化等まちの環境美化にかかる区民の意識をより向上する必要がある。」を追加しました。

戦略の方向性については、まちの環境浄化に取り組むことを記載しました。

次に、17ページ「柱2 安全・安心で快適に暮らせるまち」、「2-1 防災」でございます。現状につきましては、帰宅困難者について「就業者を中心に国内外からの旅行者も含めて」を追記しました。

戦略の方向性についての変更はございません。

20ページ、「柱3 子どもの未来をみんなで育むまち」、「3-1 子育て」については戦略の方向性について、1行目の「商業施設やマンションコミュニティと連携することにより」

を「商業施設やマンションを含む地域コミュニティと連携することにより」に変更しております。

22ページ、「3－2 子どもの学び」については、課題について、都心回帰による児童・生徒数の急増により、一部の学校では教室数の不足が見込まれ、その一方で小規模校のまま推移する学校もある。児童・生徒数の推計を注視しつつ、区内の教育環境が適切となるよう整備していく必要があることについて、追記しております。

併せて、戦略の方向性についても、「子どもたちが生き生きと安心・安全に学校生活を送れるよう、保護者や地域の皆様の声を丁寧に聞きながら、収容対策や学校の魅力化などの教育環境整備に取り組んでいく。」ことを記載しました。

24ページ、「柱4 誰もが幸せに暮らせるまち」につきましては、現在の将来ビジョンでは、「4－1 地域コミュニティ」、「4－2 地域福祉」の2つの項目となっておりますが、「4－1 地域コミュニティ」の取組内容については、他の各項目に包含されていることから、「4－2 地域福祉」を、「福祉」と「健康・医療」の分野に整理し、「4－1 地域福祉」と「4－2 健康寿命」の2つの項目としました。

現状については、2つの項目に共通する内容となっております。また、コロナ禍の収束により、コロナ禍での外出控えによる影響についての記載を削除しております。

課題については、「4－2 健康寿命」について、ライフステージに応じた生活習慣の改善及び介護予防活動により、生活機能の維持向上に取り組むことで健康寿命を延ばす必要があることを追加しました。

戦略の方向性についても4－2 健康寿命において、健康寿命の延伸に向けて各種がん検診・特定健診受診率の向上や健康増進・介護予防の普及啓発に取り組むとともに、SNS等を活用した広報活動の強化、及び在宅医療・介護を支援する関係機関の連携強化することとしました。

【前田（葉）議長】

ありがとうございました。議題（1）（2）の「中央区将来ビジョンの振り返り（案）」、「中央区将来ビジョン2023～2027の中間見直し版（案）」についての、ご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。ご発言の方は挙手をお願いいたします。

ご発言の方がいらっしゃらないようですので進めさせていただきます。議題（3）「令和7年度運営方針（案）」について区役所よりご説明させていただきます。

【三島区政企画担当課長】

「令和7年度運営方針（案）」についてご説明いたします。

資料は、「資料3－1 令和7年度中央区運営方針（案）の公表資料」「資料3－2 令和7年度運営方針（案）について」の2点でございます。資料3－2を用いてご説明をさせていただきます。

表紙をめくっていただきまして、右側 1 ページの上段、区政運営の基本的な考え方でございます。

市内中心部に位置し、人口流動性が高く、マンション等共同住宅の居住者が 9 割を超える当区の特性を踏まえ、マンションコミュニティと行政、地域コミュニティが、より柔軟に「ゆるやかにつながるまちづくり」を各経営課題共通の考え方とし、記載の 4 つの視点でまちづくりに取り組んでまいります。

下段には、ゆるやかにつながる、みんなで地域を支えていく「都市型コミュニティ」のイメージを図にしております。

2 ページをご覧ください。以降の構成ですが、各経営課題の取組項目ごとに上段より「主な戦略」「主な行動計画」経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標である「アウトカム指標」を記載し、その下には主な行動計画の参考となる写真等を掲載しております。

「経営課題 1 の（1）多彩な魅力の創出と情報発信による持続的なにぎわいづくり」については、主な戦略を「行政機関と商店会や企業、関係団体等と連携・協働し、地域や近隣に住む人々に愛され、内外から多くの人々が『繰り返し訪れたいくなる』魅力を創出する。」「2025大阪・関西万博の開催にともなう来場促進とも連動させながら、歴史や文化に彩られ、なおもダイナミックに変容していくまちの魅力を戦略的に発信していく。」とし、にぎわいスクエアの開催やにぎわい情報サイト「大阪中心」の運営等、中央区の魅力発信に引き続き取り組んでまいります。

アウトカム指標は、中央区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で発信する「まちの魅力情報発信コンテンツ」の閲覧数が前年度実績以上としております。なお、令和 6 年度の実績見込みは 470,000 件となっております。

次に、取組項目「まちを愛する区民とつくる安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」の主な戦略「防犯キャンペーンを定期的 to 実施するとともに広報紙やホームページ等で効果的な防犯啓発活動の情報発信を行う。」については、街頭における犯罪等撲滅に向けた啓発キャンペーンなどに引き続き取り組んでまいります。

また、主な戦略「2025大阪・関西万博の開催にあわせ、地域や企業との協働によるまちの環境美化キャンペーンなど、まちを愛する多くの区民が参加するまちづくりに取り組む。」については、区民や地元商店会、企業、NPO と協働した清掃活動等に引き続き取り組んでまいります。

アウトカム指標は、まちの環境美化活動に参加したボランティアの数が前年度実績以上としております。なお、令和 6 年度の実績見込みは延べ 1,150 人となっております。

経営課題 2 「マンション防災」を軸とした災害に強いまちづくり」の主な戦略「従来からの地域自主防災組織への支援を継続するとともに、マンション居住者向けの講演会や出前講座などによりマンション固有の防災対策の必要性を啓発する。」「マンションの管理会社・管理組合にアプローチし、マンション単位での防災の取組状況や課題を把握し、ニーズに合った支援をしていくことで、マンションコミュニティの防災力を高める。」「帰宅困難者

を生み出さないため、企業等が自ら帰宅抑制や備蓄などの対策をとるよう関係所属と連携する。」について、マンション防災講演会の実施など大規模災害に備えた啓発や地域防災リーダー訓練・研修の実施など地域自主防災の取組への支援に引き続き取り組んでまいります。

アウトカム指標は、防災訓練や出前講座、防災講演会の参加者数が前年度実績以上としております。なお、令和6年度の実績見込みは延べ2,000人となっております。

経営課題3 「(1) 安心して子育てができる環境づくり」の主な戦略「重大な児童虐待を防止するため、地域の関係機関・団体とのネットワークの拡充により、子ども・子育て支援体制を強化し、見守りや支援を要する子ども・世帯の早期発見・支援につなげる。」「子育て世帯のニーズに沿ったより交流・相談しやすい場を提供するとともに、こうした子育て支援情報の発信を強化する」について、訪問支援員のアウトリーチによる区内保育施設等との連携・ネットワークの更なる拡充、また、子育て相談会「パンジーひろば」や講座の開催など、相談支援体制の充実や子育て支援情報の発信に取り組んでまいります。

アウトカム指標は、区内保育施設等との連携により、新たに見守りや支援につながった子ども・世帯数が前年度実績以上としております。なお、令和6年度実績見込みは155件となっております。

経営課題3 「(2) 子どもや学校を応援する学びのネットワークづくり」の主な戦略「区の子どもたちを取り巻く課題や学校園のニーズに応じた学びの支援に取り組む。とりわけ、新型コロナウイルス感染症拡大期以降増加している不登校児童生徒の支援に重点的に取り組む。」「外国につながる住民が社会を担い自分らしく活躍できるよう、外国につながる子どもや若者、子育て中の保護者に対しそれぞれのライフステージに応じた支援を行う。」「校地確保に困難をとまなう中、市教委をはじめ、全市の関係機関や保護者・地域と密に連携し、対話を重ねながら中央区の地域特性に応じた教育環境を整備していく。」について、サポーターによる不登校・不登校傾向にある児童生徒への登校支援や段階的な復帰支援、また、外国につながる児童生徒の保護者に対する困りごと相談・サポートなど、学びのサポート、多文化共生に向けた環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

アウトカム指標は、登校支援等を実施した児童・生徒に継続的な登校の再開や不登校の状態の改善が見られる割合が前年度実績以上としております。なお、令和6年度はまだ数値が出ておりませんが、令和5年度実績は70%となっております。

経営課題4 「(1) 気かけ、つながり、支え合えるまちづくり」の主な戦略「見守り相談室や支援機関と地域が連携し、高齢者等の支援を必要とする人の把握と見守り活動の充実を図る。」「誰もが誰かを『気かけ、つながり、支え合える』まちとなるよう、見守りのしくみや高齢者支援等に関する情報発信を強化する。」について、見守り相談室によるアウトリーチの充実、地域福祉コーディネーターの配置、地域や民生委員と連携した見守り活動の実施などに引き続き取り組んでまいります。

アウトカム指標は、地域福祉コーディネーター相談対応件数が前年度実績以上としてお

ります。なお、令和6年度実績見込みは15,000件となっております。

経営課題4 「(2) 健やかでいきいきと暮らせるまちづくり」の主な戦略「健康寿命の延伸に向けて、各種がん検診・特定健診受診率の向上や健康増進・介護予防の普及啓発および在宅医療・介護を支援する関係機関の連携強化を図る。」について、いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操等の介護予防活動の普及啓発・支援や、健診受診率向上に向けた広報活動の強化などに取り組んでまいります。

アウトカム指標は、地域で開催するいきいき百歳体操等の登録者数が前年度実績以上となっております。なお、令和6年度実績見込みは500人となっております。

【前田（葉）議長】

ありがとうございます。

続きまして、議題（4）の「令和7年度中央区役所歳出予算（案）」について、区役所より説明をお願いします。

【柴崎総務課長】

総務課長の柴崎です。私から令和7年度中央区役所歳出予算（案）の概要につきましてご説明いたします。「資料4-1」をご覧ください。

表紙をめくっていただきまして2ページには、令和7年度予算編成にかかる考え方・全体予算の概要を記載しております。こちらにつきましては先ほど運営方針で説明した内容が中心になっておりますので、説明は省略させていただき、後ほどご確認いただければと存じます。

続いて3ページをご覧ください。

このページの左上、予算項目の区長自由経費（区まちづくり推進費）についてですが、右横の説明欄にも記載がありますように、区役所で実施する予算で区長が主体的に実施する予算です。令和7年度は、596,621,000円となっており、昨年度に比して139,402,000円の増となっております。

次に区CM自由経費についてですが、これは区長が区シティマネージャーとして決定権を持つ局の予算で、局が主体となって実施する道路や公園の維持管理、老人福祉センターの管理などの経費でして、令和7年度は582,062,000円となっています。

この区CM自由経費と先ほどの区長自由経費を合計いたしますと1,178,683,000円が中央区関連予算となっています。

続いて4ページをご覧ください。こちらの表は、区長自由経費の各施策分野の予算額増減の一覧です。AからDの施策分野は、運営方針の各経営課題と同じです。

まず、Aの「繰り返し訪れたくなるにぎわいのまちづくり」については、60,302,000円の増となっています。主な増要因ですが、6ページをご覧ください。ここでは、令和7年度に重点的に取り組む事業を掲載していますが、一番上の項目「市民協働で環境浄化に取り組む

みんなでクリーンゆめちゅうおう」の事業が拡充され16,820,000円の予算を計上するとともに、次の項目「大阪関西万博会場における催事関連事業」が新規事業として35,791,000円の予算を確保しており、Aの施策分野における主な増要素となっています。それぞれの事業概要は記載のとおりです。

4ページにお戻りください。Bの「安全安心で快適に暮らせるまちづくり」につきましては、昨年度より13,177,000円の減となっています。この減については、11ページを見ていただくと分かりやすいです。11ページの予算事業一覧のBの施策分野、黄色の網掛け部分をご覧ください。「交通安全運動関係事業」や「地域安全防犯関係事業」、「市民協働型自転車利用適正化事業」など、黄色の網掛け部分の事業については、令和7年度においてAの施策分野に移譲していることから、Bの分野として当該予算は減となるものでございます。10ページをご覧ください、Aの分野において黄色の網掛け部分の事業を、11ページのBの分野から引き継いで計上されていることをご確認ください。

それでは、また4ページにお戻りください。Cの「こどもの未来をみんなで育むまちづくり」につきましては昨年度より3,491,000円の増となっており、主に会計年度任用職員報酬の増によるものです。

Dの「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」につきましては、「区の歴史と文化を生かした生涯学習事業」の見直しにより、684,000円の減となっています。

Eの「総合拠点としての区役所機能の強化」につきましては、行政キオスク端末保守業務に伴う増などにより2,829,000円の増となっています。

Fの「区庁舎及び区役所付設会館の管理運営費」につきましては、主に庁舎維持管理に際し森林環境贈与税活用事業などに伴う増として、59,264,000円の増となっています。この森林環境贈与税活用事業とは、国の森林環境譲与税を財源とし、庁舎内の待合スペースなど多くの区民が利用する場所において、内装木質化や木製什器類導入による木質空間の創出により、来庁者の皆さまにとって、快適で利用しやすい区役所を整備する事業となっております。

最後にGの「一般事務費」においては、区役所管理事務事業の人件費及び物価高騰に伴う増により、27,377,000円の増となっております。

以上により、令和7年度の区長自由経費は、昨年度より合計139,402,000円の増となっております。

次に5ページをご覧ください。4ページで説明しました予算全体の中で、実際に事業にかかる経費を比べた円グラフとなっております。

続きまして6ページと7ページについて、先ほども少しご説明いたしましたが、令和7年度に重点的に取り組む事業を記載しております。6ページの「中央区こねっと☆ほ一む強化プロジェクト」、7ページの「子どもの貧困をなくすための子どもと学校等支援事業」、「多文化共生みらい活躍応援事業」につきましては、今年度と同様、来年度も引き続き重点的に取り組む事業としております。

次に9ページから13ページには、先ほど4ページで説明しました施策分野ごとの予算を事業ごとに一覧表にして記載しております。後ほどご確認いただければと存じます。私からの説明は以上です。よろしくお願いいたします。

【前田（葉）議長】

ありがとうございました。

議題（3）中央区運営方針（案）について、（4）中央区役所歳出予算（案）について、ご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。ご発言の方は挙手をお願いいたします。

ご発言の方がいらっしゃらないようですので、ここで5分間休憩時間とさせていただきます。

（休憩時間）

【前田（葉）議長】

お戻りでしょうか。それでは、議事を再開させていただきます。

議題（5）の「中央区地域福祉ビジョン2023～2025の実現に向けた令和6年度（2024年度）の取組状況について」、区役所より説明をお願いします。

【村上保健福祉課長】

中央区地域福祉ビジョン2023～2025の実現に向けた令和6年度（2024年度）の取組について、ご説明いたします。資料は5－1でございます。

「地域福祉ビジョン2023～2025（概要版）」のカラー刷りリーフレットをご覧ください。こちらは令和5年4月に策定したものです。地域福祉ビジョンは、国の提唱する地域共生社会の実現に向け、「大阪市地域福祉基本計画」と「中央区将来ビジョン」をふまえ、中央区の実情や特性に応じた地域福祉を推進するための計画でございます。

地域福祉ビジョンの策定や評価検証については、中央区地域福祉専門会議において、専門的な意見・区民の意見を反映させながら進めているところですが、ビジョン策定後2年目の今年度については、2月13日に会議を開催しました。会議では、1枚目にありますとおり、今年度より委員の公募を実施し、3名の公募委員に参画いただいております、より区民主体のビジョンとなるよう取り組んでおります。

「取組の実績」状況について報告させていただきます。リーフレットの基本目標1・2について、その一部であります。資料①に記載しております。「基本目標1 ともに支えあい助けあう地域社会の実現」の、「2 支援を必要とする人の把握と見守り活動の充実」において、地域福祉コーディネーターによる要援護者支援と見守りを取組とした実績については、直近5年間の年間平均の約13,000件から、今年度は見込みですが、15,000件となっております。地域の中に気軽に相談できる人や環境があることが認知されてきたと思います。

また、「6 災害時に備えた人とまちの関わりづくり」においては、地域・区社協・ケアマネなどが連携し、災害時に、優先度の高い要支援者の個別避難計画作成を進めています。

次に、「基本目標2 様々な支援がつながる包括的支援体制の構築」については、「3 認知症の人を支える取組の推進」としまして、桃園地域で取り組んでおられます認知症が疑われる方に対する声かけ訓練について、地域福祉コーディネーターや、民生委員さんなど多くの関係者に訓練を継続して体験していただいております。

「4 こども・子育て相談と児童虐待対策の強化」については、地域の子育て支援機関やこどもの居場所との連携強化の取組として、区内の保育園や幼稚園を訪問し、園の先生方と共に子育てに寄り添い、ニーズに応じた適切な支援や制度を案内するため、寄り添いサポーターが保育・教育施設と連携するとともに、こども家庭センター設置による母子保健と児童福祉の連携拡充により、虐待への予防的な関わりから個々の家庭に応じた切れ目のない一体的な支援を行っております。

一方で、この改訂ビジョンは具体的な数値目標を設定していないため、数値にとらわれずに福祉を推進していくためにはどうしたら良いか、ということをお話し合う機会として先月2月に中央区地域福祉専門会議でグループディスカッションを開催しました。

専門会議の資料②をご覧ください。委員の皆様からいただきました、主な意見として発表されたものを記載させていただいております。これ以外にも各自のそれぞれのお立場で発言いただき、時間が足りないくらい熱の入った討議となりました。次年度はビジョンの最終年度となりますので、これらのご意見を基に、次期ビジョンを策定予定でございますが、さらなる推進に向けて取り組みを進めていきたいと考えております。

ご説明は、以上でございます。議長、よろしくお願いいたします。

【前田（葉）議長】

ありがとうございました。

議題（5）「中央区地域福祉ビジョン2023～2025の実現に向けた令和6年度（2024年度）の取組状況について」について、ご意見・ご質問をお伺いしたいと思います。ご発言の方は挙手をお願いいたします。

ご発言の方がいらっしゃらないようですので、それでは次に進めさせていただきます。

議題（6）の「中央区の教育環境について」、中央区役所より説明をお願いいたします。

【平田市民活動支援・教育担当課長】

中央区役所市民協働課市民活動支援・教育担当課長の平田でございます。

現在、中央区が置かれております教育環境につきまして、大きな課題となっておりまして、ことから本日この場で説明をさせていただきたいと思っております。

まず、先ほどご説明させていただいた中間見直しをした中央区将来ビジョン2023～2027、令和7年度中央区運営方針（案）に書かせていただいておりますが、中央区では校地面積が小

さい中、一時の大規模な人口減少に伴った児童数の減少もあり、統廃合を重ねてきた経緯がございます。

そうした中で今度は急激な児童数増加のフェーズに入ってきた状況にございまして、これまででは慎重に児童数の推移を見守ってきたところなのですが、いよいよスピード感を持って対応していかないといけないフェーズになってまいりましたことから、中間見直しをした中央区将来ビジョン2023～2027、令和7年度中央区運営方針（案）に書かせていただきました。

具体的にどういう状況になっているかと申しますと、用意させていただいております「資料6-1『中央区の教育環境の整備について』」では中央区内の学校の位置、そして吹き出しに各校の学級数・児童生徒数を記載しております。線が重なって分かりにくいところもあるのですが、黒い線で囲っているところと、点線で囲っているところはそれぞれ小学校区、中学校区の区割りとなっております。資料右端に記載のとおり中央区では、児童生徒数の急激な増加によって一部の学校では教室が不足する可能性があります。特に、開平小学校については児童推計により、令和12年度に教室の不足が見込まれることから、学校協議会や地域の皆様と協議を重ねているところでございます。

収容対策といたしましては、図面上の開平小学校から南にもと南高等学校グラウンドというところがございます。こちらにつきまして、収容対策として旧南高校グラウンド跡地に新しい小学校を設置することを軸に、ただいま検討を進めているところでございます。

いずれにしても、ここに学校ができるということにつきましては、周辺の校区にも影響が出てまいりますし、この児童数増加の流れによって東中学校も急激に生徒数が増加してまいりますので、地域の皆様方や保護者の皆様の声を丁寧に聞きながら子どもたちの教育環境を少しでも早く整えていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

非常に重要な課題でございますので、稲嶺区長からも説明させていただきます。

【稲嶺区長】

お手元にお配りをしております資料は現在の状況ということで客観的な状況ですが、現在も動きがあります。

例えば今日私は卒業式に参加して参りましたがけれども、開平小学校でいうと去年の卒業生数は41人、今年は55人と聞いており、1年度経って増えています。今日私が行った玉造小学校の卒業生数は119人でして、どこの学校も予断を許さない状態となっております。また、児童数が横ばい、または減少している学校もございます。

中央区全体としてどのようにこの問題をとらえるのかということで、収容的な観点から生徒が入っておらず、ハード面的に学校を増設しない問題と、もう1つは大阪市が採用している希望に従って可能な限り生徒を受け入れていこうとする指定校変更制度によって地域の子どもたちが地域の学校に入れない、また入ったとしても学校が狭い状況を強いられると

いう問題があります。

もう1つが、聞きなれないかもしれませんが指定外就学の問題もあります。例えば、開平小学校の校区に住民票があり、開平小学校に通っていたが、区外・他都市に転居した場合も、従来でしたら転居先の学校へ転校といったこともあったわけですが、次第に学校選択を充実した方が良いのではないかという流れもありまして、小学校卒業まで、場合によっては接続する中学校を卒業するまで元々の学校に通える制度があります。

制度としては、手厚いところがある一方、地域の子どもたちにとっては窮屈な状況も生まれておりますのでこの点について整理をすることを目的にソフトとハードの両面で現時点では、中央区・天王寺区・阿倍野区で教育委員会会議をして話を進めています。

ただ、この問題は今に始まったことではなく、昔からあの手この手を使って何とか希望する学校に行こうとする方々もおられるので、ニーズに応えることも大切ですが、本来の校区内に住む子どもたちの教育環境を整えるということも大切になります。その点について、鋭意検討を進めているところで、今月、また年度明けにも議論を行い、早急に結論を出したいと思っております。とはいえ、ハード面についてこれから作ろうとすると5年か6年かかりますので、今から設計しても、設計、詳細設計に2年か3年かかり、その後も3年はかかります。

開平小学校では令和12年度にオーバーフローするのではないかとされており、窮屈な状況になってきております。このような状況ですので、中央区全体の教育環境の整備という大きなテーマについて、このような大きな会議の場で地域の皆様からご意見いただきながら、現在学校に通っている、またはこれから通おうとしている方々のご意見もアンケート調査して、意向確認していきたいと考えております。

ですので、今日、区政会議を開催することでスタートラインに立ったということでございます。

【前田（葉）議長】

それでは、ただいま中央区の教育環境について稲嶺区長と平田課長からご説明いただきましたが、これにつきまして何かご質問、ご意見ございましたら、挙手をお願いいたします。

【小島委員】

中央区全体では児童が増えている割に、南中学校は児童数の減少が続いています。特に南小学校は今年の新入生がとても少なく、この地域ではどんどん減っており学校間格差を感じます。一方で、天王寺区の医師会の中で問題になっているのですが、天王寺区では生徒数が1,000名を超える学校が出てきて、学校医から健診に対応しきれないという悲鳴が上がっています。以前は住んでいる地域にずっと居て、近所の友達とずっと一緒に学校に通っていたのを、自由に選択できるようにした影響でアンバランスが生じていることが気になります。

それから南中学校は日本語を教えてくれることから外国から来た生徒にとっても人気があって、全生徒の5割ぐらいが外国から来た生徒であり、日本の生徒がどんどん減っていることを校長先生から聞きました。

日本語を教えてくれるので外国から来た生徒から人気が出るのならば、日本の生徒に英語を教えることを積極的に行うことで学校の人気を高めることはできないのかと思いました。

【稲嶺区長】

小島委員がおっしゃったように新しい魅力を作るという視点は必要だと思います。

ただ、その魅力付けというのは、取ってつけたような魅力付けではなかなか地域に馴染まないと思いますので、今の地域特性を十分に踏まえて、一体何が中央区の学校の強みとしてあるのか踏まえながら考えていきたいと考えています。

学校の人気というものは今までイメージとして作られてきたものですから、一朝一夕にブランドを作ったりすることは難しいので、地域の方々から、肌感覚もふまえて情報を受けながら検討進めていきたいと思っています。

【前田（葉）議長】

ありがとうございました。

他にご意見ございませんでしょうか。

無いようでございますので、それでは全体を通して、お1人ずつご意見、ご質問をいただきたいと思っております。

恐れ入りますが、麻野委員からよろしく願いいたします。

【麻野委員】

私自身が私立の学校の運営に関わっているということもありまして、教育環境の整備に関しまして興味深く状況を見ております。今日の話の中でもいろいろな発見がありました。

この課題は喫緊の課題です。子どもたちの教育の質を保っていくというのは、私たちの世代が次の世代に向けて果たすべき最大の責任の1つであると思っております。

そういった中で、現状としてしっかりとした対応は難しいということを感じるのですが、今日の話の中にありましたが、今までの様々な枠組をより柔軟に緩やかに全体として考える、中央区として緩やかに繋がるというようなテーマがあるということだと思えます。

教育関係の資源というものは、公立の学校以外に私立の学校があり、それ以外の様々な教育系の組織があります。そういったところが、融通しあって次の世代のために、今までの発想を変えて地域全体の教育環境の質を高めるというような工夫が求められているということ強く感じています。

私に関与している学園に関しましても、地域のために役割を果たしていければということとで、努力しているところであります。

そういったトレンドがもっと広がっていき、地域として教育の質がある程度確保されるということがあるではないかと思っています。

また、近隣の公立小学校も生徒数が増え、校舎の建て増しをした結果、運動場が狭くなっているというようことがあって、やむを得ないということもあるのですが、都会ではあるけれども体づくりや健康づくりができる環境を作れていないというのが、私としてとても気がかりなところでもあります。今思いつくことではあるのですが、屋上に運動できるようなスペースを今まで以上にたくさん設けていくとか、様々な公園などを活用していくということが今まで以上に必要かと思えます。

この教育環境の整備が重大な問題だということを、区民の方々が今まで以上に認識され、その上で、私たち大人が次の世代への責任として、しっかりと対応していくことを考える機運が盛り上がっていけば良いとを今日の話を聞きながら考えておりました。

【前田委員】

とても貴重なご意見ありがとうございます。

続きまして浅宮委員お願いいたします。

【浅宮委員】

私は障がい者団体の中央区支部所属で、障がいを持つ子の親ですけれども、このような場に初めて参加させていただいて、いろいろなことを勉強させていただきました。

「いろいろなことを勉強させていただいた。」ということをご意見とさせていただきます。

【前田委員】

ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

続きまして、小島委員お願いいたします。

【小島委員】

万博の件ですが、皆さんはチケットを買われましたか。

私は、2ヶ月前の抽選に4日分申し込んで、当選したのは1日分だけでした。だからパビリオンの予約が取れないのです。

しかも、一旦パビリオンの予約を取ると、入場時間が決められてしまい、それを変更すると予約がキャンセルされてしまうという、1970年の万博とは違い、また柔軟性がないとつくづく感じておりまして、これでは普及するのは難しいのではないかと思います。

パビリオンの予約が取れなければ、万博に行って何をすれば良いか、どこかのパビリオン

は並べば入れるのかが分からないので、そういった広報をもう少ししていただければと思います。

【前田委員】

それでは続いて兼岡委員、お願いいたします。

【兼岡委員】

大阪市生涯学習推進員中央区連絡会の兼岡です。

生涯学習推進員という観点から見ますと、生涯学習というのは生まれてから亡くなるまでの全世代を網羅して、区民の皆様、地域の皆様に一緒に学習しませんかという活動を推進、提供していく立場だと思っております。その生涯学習ルームというポジションにありまして、それは小学校単位のものであります。

平成になったころに大阪市の各小学校に空き教室が多くなったので、これを活用していきこうということが始まりだったのです。

現在では中央区は空き教室がなくなりましたし、コロナもありましたので、学校からは大人まで対応できないという声が上がっています。

でも、地域や中央区のことを考えていくのは町会や身近にある小学校などが基盤になると思います。

小学校と大人を結ぶ生涯学習ルームだったのが、コロナ禍を経て近年、小学校との関わりが少なくなってきたのではないかと少し寂しく思っております。

生涯学習ルームがどんどん学校に入って、子どもたち、地域に還元してくださいと言ってくださったところもありますが、児童数が多くなり、空き教室もないので学校の外で活動してくださいと言われることもあります。行事に関われてないところもあって、そこも少し寂しく思っております。

私は仕事柄、開平小学校・中大江小学校・南大江小学校・中央小学校、玉造小学校、これらの小学校の児童と関わりがあります。高学年になるほど口をそろえて教室が狭い、それから運動場を学年ごとに使うので、下の学年の子のことが分からないと言います。学校では年齢の垣根なく縦割りで活動することが主流なのですが、そのような活動がしにくくなっているのか、あまり分からないようです。登校班もあるのですが、子どもたちも人数が多すぎて戸惑っているところもあるかと思えます。

小島委員がおっしゃったように学校をブランド化していくという手段も興味深いです。

私の姉は元大阪市の小学校の教員なのですが、中央区の教育環境についての地図を興味深そうに見ていました。姉も退職して67歳なのですが、振り返ると働き方改革の面からも芸術や体育は専門のプロに任せた方がよいのではないかと考えていました。

麻野委員がおっしゃっていたプールも問題があると思います。プールも授業としてスケジュールに組み込んでいるのですが、雨などもあって年間3、4回しかないこともあります。

他にも高学年の女子は着替えるのにとっても時間がかかって、髪がボサボサのまま次の授業を受けることがとても辛いと言っていました。

そういうところをもう少し具体的に踏み込んで、改革していただければと思います。

私から以上です。ありがとうございました。

【前田（葉）議長】

学校協議会があり、各連合の会長が校長先生に意見を申し上げる機会があるので、各連合の会長を通して言っていただくこともできます。

ご意見ありがとうございます。

それでは清田委員をお願いします。

【清田委員】

はい、大宝連合の清田と申します。いつもお世話になっております。

中央区の予算が約1,178,000,000円、これは全体の予算だとしたら予算が少ないと思います。

先ほど人口が2.1倍、世帯数が3.0倍になったとおっしゃっていました。30年前と比べたら税収よりも支出の方が高くなっていますよね。税収がすべて中央区に使われるわけではないと思いますが、固定資産税や住民税も収入として入ってきますよね。大阪の容積制限が緩和されて、マンションが高く建設できるようになってきたことでタワーマンションがたくさんでき、税収も増えています。

中央区もその人口と税収を考慮して、予算を見合わせていただくようなことを大阪市役所に言っていただけたらいいですか。

今後その点も考えて、中央区として取り組んでいっていただけたらと思います。
以上です。

【前田（葉）議長】

はい、ありがとうございます。柴崎総務課長よろしいですか。

【柴崎総務課長】

できるだけ確保に努めてまいります。

【前田（葉）議長】

それでは続きまして葛本委員よろしくをお願いします。

【葛本委員】

公募委員の葛本と申します。

全体的に5点ほど述べたいと思います。

まず、先日ラウンドテーブルに参加させてもらい、中央区の「福祉」は「ふだんのくらしをしあわせに」であるということを聞いて良いなとおもいました。

福祉というと、お年寄りや障がいを持つ方に焦点が当たりがちなのですが、「ふだんのくらしをしあわせに」がとても気に入り、これを広報していただけたら、また私もいろいろな人に話したいと思いました。

これから5点について話しますが、1つ目は防犯の件です。

万博、インバウンドもあり多様な方が中央区に来られます。ですので、まちをもっと綺麗にしていきたいと感じました。先日、路上喫煙も禁止になりましたが、まだ路上でたばこを吸っている人はたくさんいます。割れ窓理論とも言われますが、たばこの吸い殻が落ちていたら、皆さん路上喫煙をすると思うので、今も綺麗にしていっているのですがもっと綺麗にしていくべきかと思いました。

2つ目は令和6年度実績見込みで、防災訓練などに参加した人が2,000人、清掃活動に参加した人が延べ1,150人、百歳体操に参加した人が500人ということですが、人口が約117,000人なので参加人数が少ないと感じました。資料によると百歳体操について75歳以上の方が2.2%ということで、割合的に参加者が少ないと思います。

3点目が、先ほど清田委員もおっしゃっていたのですが、予算が約1,178,000,000円で、予算計画は令和6年度との比較とのことでしたが、実績の比較はどのようになっているのか気になりました。

4点目が、認知症の方に対する声かけについては、これまでの区政会議の中でもお話を聞いていたのですが、平日しかしていないということで、中央区は平日に働いている人が多いと思いますので休日も、そういうイベントをしてみたらどうかと思いました。

最後ですが、小学生、中学生の人数について、中学受験をして私立の学校に通う子どもたちも多くなってくるのかと感じています。高校無償化で公立高校定員割れというニュースもありましたので、アンケートなどをされて新しい学校を作るか検討されると思うのですが、そのような視点も必要ではないかと思いました。

以上です。

【前田（葉）議長】

はい、ありがとうございました。

大変貴重な意見がたくさん出てまいりましたが、中央区役所でなにかお答えすることはございますか。

【村上保健福祉課長】

たくさんのご意見ありがとうございます。

特に「ふだんのくらしをしあわせに」については、中央区としても、誰もが地域福祉を意

識して、つながり作りをして欲しいというような思いがあつてのキャッチフレーズになります。

次期の地域福祉ビジョンにも目立つように組み込めたら良いと思っております。ありがとうございます。

【柴崎総務課長】

実績についてですが、今手元に細かいデータがないのですが、ほぼ予算どおり区役所で活用しております。入札落ちもありますが、ほぼ予算どおりとなっております。

以上です。

【大西市民協働課長】

市民協働課大西です。

防犯や路上喫煙対策についてですが、国内外から多くの方が来阪される中で重要だと考えております。市全体として取り組むべき事業ですので、関係部局と連携しながら取り組みを進めていきたいと考えています。

また、防災訓練や清掃活動の参加人数が117,000人である中央区の人口に比べて少ないのではないかというご意見もありました。その点では少ないと感じるところではありますが、これはつながりの希薄化も関係していると思います。これは区として大きな課題になっているのですが、つながりづくりに取り組むことで、参加人数を現状以上に増加するように、継続して取り組んでまいりたいと思っています。

【稲嶺区長】

参加人数が少ないように見えるのですが、私が中央区に来たとき地域の事業所、商店会、ボランティアの皆さんが大人数で頑張っていると感じました。

先日も、ミナミべっぴんプロジェクトというイベントがありまして、大人数で高島屋とマルイの間のなんば広場を中心に放射状に練り歩いて、たばこの吸い殻やゴミを拾いました。コロナ期にできなかった時期もありましたが、それ以降は、ボランティアの皆さんと協力して、活動を歩いている方に見てもらおう、インバウンドに対してゴミのポイ捨てをしないよう啓発をしていこうと取り組んでいます。

インバウンドがただゴミのマナーを知らなくて捨てている可能性もあるので、例えば観光バスの座席の後ろに、外国語表記でゴミのポイ捨てをしないよう、またこのゴミ袋を持って行ってまた帰って来るような啓発をバス協会と話を進めているところです。

そういったことをすることで環境美化が進みますし、それをミナミは当たり前に行っているんですね。

放置自転車防止の啓発をしようとしたときに、中央区は地域の力でたくさん片付けてもらい、それによって予算を削減でき、放置自転車も少なくなりました。しかし、他の区でこ

ここまでできるところはないです。ただ、中央区は絶対数が多いので少々頑張ったぐらいではなかなか放置自転車がなくなるということはありません。

これから、万博の開催もありますので、ボランティア募集もしながら、地域の事業所の皆さん、商店会の皆さんとボランティアをアピールしながら進めたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【平田市民活動支援・教育担当課長】

先ほどの兼岡委員と続けてご意見をいただきましたので、併せて回答させていただきます。

まず、生涯学習につきましては、大阪市としても地域と学校の協働活動ということで、皆さんが将来にわたって、学びつつ、そして学びながらも今学んでいる子どもたちを地域全体で様々な形で見守っていただくという取り組みを行っております。

そうした中で、生涯学習ルームにつきましては、そもそも空き教室がない、特別教室を提供していかないと、そもそも普通教室が足りないという状況になってきております。その中でどうやったら活動していただけるかというのは学校と相談しまして、皆さんの活動にフィードバックしていきたいと考えております。

新しい学校をつくるにあたって、私立の学校へ入学する生徒が多いのではないかというご意見もいただきました。人数については公表しにくいところではあるのですが、私立の学校に進学される想定を見越して、今後の推移を見守っていききたいと考えております。

働き方改革という、キーワードが出ましたので、私どもから、今の状況をお話しますと、今の先生たちの教育環境が非常に厳しい状況になっています。なぜかと言いますと、少子化の中で、子どもたちを取り巻く課題が複合化しております。学校だけでは解決できない課題が増え、先生たちの負担も重くなっている中で、志願者も残念なことに減っているという非常に大変な状況であり、取り組みを行っております。

またその点も情報発信させていただきまして、皆様にご協力いただけるところについてはぜひご助力いただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【山内保健主幹】

保健師の山内と申します。

百歳体操についてご意見をいただきましたので目安の考え方をお伝えいたします。

まず介護予防を目的に取り組んでいますが、百歳体操は、通いの場の確保の1つとして、全国的に様々な手法で取り組んでいます。参加者数の目安も目標値が出されています。大阪市については、高齢者の人口を基に目安数が出されていまして、その表を見ますと、今、中央区は高齢者がどちらかといえば少ない地域となっております。ですので、その中で500人という実績は目標値に沿っている状態です。

ただ、場所の確保というのはこれから先難しいと感じておりますので、保健師として前向

きに取り組んでいきたいと思っている状況にあることをお伝えします。

以上です。

【前田（葉）議長】

それでは城委員をお願いします。

【城委員】

私も区政会議に参加させていただいて、私にとっては大きな話ということでかなり勉強させていただきました。

私が所属している中央区体育厚生協会は、主に11月のスポーツカーニバル、2月のファミリージョギングをしており、以前は小学校の先生の協力を得て実施していたのですが、先ほど平田課長も言われていたように、働き方改革ということで、小学校からの協力が得られなくなり、それに代わり地域から協力を得たり、役所に広報を手伝っていただきました。そういう面では地域がもっと大事になっていくのではないかと考えています。

これまでの会議の中でも地域との連携に重点を置いていくというお話だったので、ますます良くなっていくのではないかと期待しています。

以上です。

【前田（葉）議長】

それでは続いて高山議員、よろしくお願いします。

【高山委員】

はい、中央区子ども会育成連合協議会の高山です。

それぞれの運営の柱があり、1つの柱を考えていくと見えてくるものがあると思うのですが、柱ごとの横の繋がりは一体どうなっているのでしょうか。

例えば災害が起きたときに、障がいを持っている方は帰宅が難しい。そういう人たちをどのように救うのですか。

それから、開平校区の地域は、昔からなのですが公園がないです。いざ、何かあったときに、逃げ込むところがない。他の地域まで10分か15分歩いて避難するのかとか、津波等があって浸水してきた場合どうするのかとか、もう少し考えていかないといけないのではないかと思います。

先ほど話題に挙がりました小学校の児童の人数についてですが、少し乱暴な言い方になりますが、タワーマンションはもういらないと思います。タワーマンションの建設を禁止している自治体もあると聞いたことがあります。

ここまで踏み込むと大阪市が管轄することかもしれませんが、根本的のところまで考えるということであれば、もうそこまで踏み込まないといけない状況でもありますし、先ほど

言いました公園についても、あえて公園や空き地を作ることを考えても良いのではないかと思います。

それから防犯のことですけれども、キタとミナミに挟まれている立地なので、キタやミナミから人が流れてくると聞いたことがあります。防犯カメラは地域が設置されていると思いますが、防犯カメラにも寿命があって、その維持管理費は全て地域が負担しているところもあるので、もう少し手厚い支援があっても良いのではないかと思います。

それから老人の見守りについてですけれども、コーディネーターの姿が全然見えません。他の地域は、うまく連携されているかもしれませんけれども、私の地域は全然できていません。他の地域の方にも、私の地域では老人の見守りはどうなっているのか聞かれますし、その点について、どのように見守っているのか教えていただきたいと思っております。以上です。

【前田（葉）議長】

ありがとうございます。

たくさんのご意見が出ましたが、区役所としてお答えできることはありますでしょうか。

【村上保健福祉課長】

見守りについてご意見ありがとうございます。

現在は、地域福祉コーディネーターを各社会福祉協議会に配置しておりまして、その中で見守りの対象者である要援護者の中から、合意を得られた方について見守りをしていく運用をしております。

各地域で見守り方は様々であり、行事に参加したときに対象の方にお話をさせていただいたり、実際に出向いて状況を確認させていただいたり、地域によっては、見守り対象者の方だけではなく、いろいろな高齢者の方へ見守りをするようなことをしております。

見守り方の違いについて、地域によって同意を得られている人数も違い、見守り対象者も違うので、地域によって見守りできている部分とできていない部分があるかと思います。

中央区としても各地域福祉コーディネーターの業務が平準化できるように検討していきまして、地域による違いも無くしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

以上です。

【前田（葉）議長】

はい。ありがとうございます。次に大西課長、お願いします。

【大西市民協働課長】

貴重なご意見ありがとうございます。

防犯について、先ほどお話のあったキタやミナミから流れてくる点については、我々は把

握できないのですが、防犯カメラについて、平成21年度から数年間、市・区の助成で設置してきた経過がございます。その上で現在、地域で維持管理していただいているという状況です。当時の助成がどのような状況であったかは定かではないのですが、現状の財政面が非常に厳しい状況でありますので、対応は難しいですし、中央区だけの問題ではないと思いますので、市当局に要望していきたいと考えております。

また、地域活動協議会の補助金もあり、限られた予算額になるのですが、その中で工夫している地域もありますので、台数にもよりますが、可能な限り活用していただきたいと思います。

【前田（葉）議長】

ありがとうございます。他の事項につきましてはご意見として伺いするということがよろしいですか。

はい、それでは富田委員をお願いします。

【富田委員】

私は中央区生まれ・育ちではなく、子どもを授かり中央区の急激な人口増加に伴い転入し、子どもが保育所にいるときから学童保育のときも保護者会の活動をし、その後もPTAの活動もし、区政会議に参加させていただいております。そして区政会議を開いてくださり感謝しております。

20年程中央区に住んで、よその人間がどうやって「中央区の人」になろうかずっと考えていたので、会議でいろいろな人と会い、非常に勉強になりました。

私の任期が終わった後の次の委員の方も、「中央区の人」になってくれれば良いなと思います。

中央区に來たばかりの頃、最初は子育て難民でした。そこで少し調べたのですが、実は約100年に日本で初めて公立保育所ができたのは大阪市、約50年前に初めて学童保育をしたのも大阪市ということを知り、驚きました。大阪市の始まって、瞬く間に全国に広まりました。大阪市は困ったら地域でなんとかするところだと思いました。

そのような地域なので、私はよそ者ですが、その地域の者になる機会があり本当に嬉しいです。

私は少し前までの牧歌的な時代に来たので受け入れていただけたのですが、今はそんなこと言っていられない事情があると思います。ですが、中央区が困難を解決してきたという意味では、私も住み始めて20年を超えましたので、よそから来た人を「中央区の人」にする世話役に今度はなりたいと思います。そのような中央区の、困ったら何とかする文化が続いて欲しいし、他人事ではなく自分がする番になり緊張します。

総じて、中央区には感謝しております。どうもありがとうございました。

【前田（葉）議長】

はい、ありがとうございました。

続きまして中川委員よろしくお願いします。

【中川委員】

公募委員の中川と申します。

最近お会いした地域の方がインバウンドの影響か、まちが汚くなって悲しいっておっしゃっていたのですが、先ほどバス協会と協力して色々取り組んでいると区長からお聞き出来ましたのでその方にも伝えたいと思います。

中央区としての課題は沢山あるかとは思いますが、いろいろな課題解決に取り組んでいらっしゃるのだというのが区政会議に参加した率直な感想です。また、毎回様々な方法で区政会議をより良いものにしていくと工夫していることに私はすごいと思いました。それが区政にも表れているのかなと。区政をきちんとしているから会議にも表れているのかもしれない。中央区はとても良いところだと思います。

ありがとうございました。

【前田（葉）議長】

貴重なご意見ありがとうございました。

続きまして古川委員よろしくお願いします。

【古川委員】

大阪商工会議所の古川です。

私の出席は今回が最後になります。いろいろと学ばせていただきまして、ありがとうございました。

イベント等で、中央区の商店街の方々と繋がることはあるのですが、自分で考えて自分で動く方々が沢山いらっしゃいます。区長もよく「地域の方々の、邪魔にならないように、力添えになるように、行動をするのが区役所の役割だ。」っておっしゃっていて、ボランティアの方々が自分のまちだからと動き、役所任せにしない姿が本当に素晴らしいと感じました。

今回の議題6-1について、旧南高校のグラウンドを使って新しい小学校を設置するという話がありましたが、児童数が減っている南小学校の近くに、新しい小学校を設置することが妥当なのかととても疑問に思いました。また南小学校の校区の方が近くに新しい小学校が設立したからと、新しい小学校に行ってしまうと、さらに南小学校は児童数が少なくなるのではないかと思います。

小学校を設置することができるほどの大きな土地があるかどうかといった問題はあるかと思いますが、適した場所があれば、旧南高校のグラウンドを売却して新たな土地を買うと

いう方法も、視野に入れて検討いただいたら良いと思いました。

【平田市民活動支援・教育担当課長】

貴重なご意見ありがとうございます。

古川委員のお考えはごもつともであり、これまで大阪市教育委員会が主として様々な形で、用地確保に向けて取り組んできたところですが、中央区内でまとまった学校用地を確保することが非常に困難な状況です。

具体的には、平成30年に大阪市内中心部児童急増対策プロジェクトチーム会議が開催されまして、その中でいろんな議論をされた上で、一旦南高校グラウンドを活用することとなり、その後も引き続き用地確保に取り組んでしましたが、なかなか難しかったという事情でございます。

【稲嶺中央区長】

古川委員のおっしゃる通り、本来でしたら、児童数が増えているエリアに新しい小学校を設置するのが適切かと思われます。しかし、このエリアは公園すらなく、さらに土地があったとしてもすぐに土地利用されるということもあり、極めて地価が高価であると予想されます。行政は、一定の鑑定評価に基づいた適正価格で購入しますので、土地がないうに、購入も厳しいです。

様々な観点から検討を行いましたが、やはり結果的に厳しいという経過でございます。

ただ、今後もこの問題は残ると思いますので、商工会議所も含め、ある程度まとまった利用可能な土地ができるという情報をいただけるのであれば、動いてまいりたいと思っています。

【前田（葉）議長】

貴重なご意見ありがとうございました。

続きまして古道委員よろしく申し上げます。

【古道委員】

社会福祉協議会の古道でございます。

私は今年度より区政会議の委員をしており、多くは同じ地域福祉分野の方々とお話をさせていただくことが多かったのですが、12月開催のラウンドテーブルでは2回参加させていただきました。違う分野の方とお話することが非常に新鮮で、とても楽しく参加をさせていただきました。

資料2-1の「4-2 地域福祉」の現状に、高齢者障がい者等の見守り活動について、7割近くの方が知らないと書かれておりとてもショックでした。高齢者障がい者等の見守り

活動とは、民生委員・児童委員等の見守り活動を行う地域団体や地域福祉コーディネーターなどが支援を必要とする方を見守る活動なのですが、この活動が皆さん方にはあまり伝わっていないということに少し驚愕しました。

支援を必要とする方やそのご家族などは、例えば介護保険の情報やサポート情報については、非常に興味があるのですが、まだ支援を必要としない方への今後のために知っておいていただくというような、広報や情報提供の仕方を考えていく必要があると感じました。

計画やビジョンなどに携わっている関係団体の方とかは、計画はもちろん進捗状況に関心を持っておられますけれども、多くの区民の方はあまり身近に感じていないのではないかと思います。今回の中央区将来ビジョン2023～2027の中間振り返りについての中で写真とかも用いられながら、非常にわかりやすく、資料をまとめていただいております、より区民の方にも伝わりやすいのではと思いました。

地域では担い手が不足しているなどの課題を抱えておられることをよくお聞きしますけれども、ビジョンの振り返りが少しでも区民の方が、担い手とまでいかなくても区の取り組みや、内容について関心を持っていただくことにつながるのではないかと思います。

以上です。

【前田（葉）議長】

貴重なご意見ありがとうございます。

最後に堀井委員よろしくお願いします。

【堀井委員】

中央区地域女性団体協議会の堀井と申します。

中央区地域女性団体協議会はいわゆる「女性会」というものですが、私の地域でも、他の地域の方にお聞きいたしましても、高齢化に伴う会員の減少という課題があり、どうしたら、会員を増やせるかということで、四苦八苦しております。

若い世代の方がもっと参画していただけるような取組を私たち女性会も一生懸命考えていますが、区全体の取組として、お考えいただきたいと思います。

中央区の教育環境整備についてですが、最近、学校協議会に出席した際、学力は大阪市の中では上位であるが、体力や運動能力が下がっているとお聞きしました。やはり校舎が狭いというのが原因ではないでしょうか。早急に対策を講じることですが、ぜひ、教育環境の整備をしていただきたいと思いました。

ありがとうございました。

【前田（葉）議長】

貴重なご意見ありがとうございます。

最後に議題（７）について中央区役所から何かご意見ありますでしょうか。

【三島区政企画担当課長】

特にございません。

【前田（葉）議長】

それでは、助言者としてご出席いただいております市会議員の皆様からも一言ずつ、お言葉を頂戴したいと思います。

まず野上議員、よろしくお願いいたします。

【野上議員】

皆様、本日は長時間にわたりましてお疲れ様でございました。

また、様々な貴重なご意見をいただきましたことを感謝申し上げます。

本日は稲嶺区長を迎えての最後の区政会議になるのかと思います。

４年間、職員の皆様方と支え合いながら様々な中央区の課題に取り組んでいただいたことと思っております、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。

今日は令和7年度の中央区歳出予算についても、議題として上がっておりますが、3月には大阪市会でも予算委員会があります。6つの常任委員会の中で、私は建設港湾委員会で、塩中議員は民生保健委員会なのですが、そこでも予算について様々な議論をさせていただきました。

今日皆様からいただいたご意見の中でも取り上げさせていただいて、市政をチェックしながら議論を続けておりまして、区政会議でいただくご意見や、普段いろいろな地域の皆様からいただくご意見というのは私たちは市会で取り上げさせていただくことも多くて、とてもありがたいと感じています。

そういった議論が新しい施策、その施策の見直し、あるいは廃止に繋がったりしますし、予算の付け方なども私たちは市民の声をお聞きしてチェックしていきたいと思っておりますので、このような場またはこのような場以外でもたくさんのご意見をいただければと思います。引き続き、ご意見頂戴いたしますようによろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

【前田（葉）議長】

はい、ありがとうございました。

それでは塩中議員よろしくお願いいたします。

【塩中議員】

はい、本日はありがとうございました。

5年ぐらい前から区政会議に出席させていただいているのですが、終わった瞬間、「ご意見ありませんか。」と言われ、いつも無いまま帰っていたときが懐かしく思います。様々な課題について、4つのグループに分かれて話し合ったりすることで、こんなに多くの意見を聞かせていただけるようになったのだと思っております。

万博のチケットについては、長くなるので、後で個人的に聞いていただきたいと思うのですが、我々も業界には要請させていただいておりますし、横山市長をはじめ、吉村知事も東京に行って国と連携したり、改善を進めさせていただいております。

万博開幕である4月13日は直前なので、完璧に始めることはできないかもしれませんが、多くの方々より期待していただいております、我々も失敗しないように頑張っていきますので、いろいろなご意見をいただきたいと思います。

また、稲嶺区長、ありがとうございました。新しい区長とともに中央区政、そして大阪市政を盛り上げていきたいと思っております。

本日はありがとうございました。

【前田（葉）議長】

ありがとうございました。

たくさんの意見を頂戴いたしましてありがとうございます。

まだおっしゃりたいこともたくさんあると思いますが、次の5月の会議に持ち越させていただきますまして、本日の議事はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

それでは事務局にお返しいたします。

【三島区政企画担当課長】

本日は前田議長をはじめ委員の皆様、長時間にわたり大変活発にご議論を賜りましてありがとうございました。

本日、ご説明させていただいた「中央区将来ビジョン2023～2027の中間見直し（案）」、「令和7年度中央区運営方針（案）」については、今後、新区長のもと確定してまいります。また予算案につきましては市会の議決により成立いたします。これらについては成立後、速やかにHP等にて公表してまいりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、稲嶺区長より一言ごあいさつ申し上げます。

【稲嶺区長】

皆様、この4年間ありがとうございました。

先ほど塩中議員がおっしゃっていたように、区政会議の一番初めはこれだけのメンバーを集めておきながら、何も話さないで帰ってもらうこともあり、残念だったのですが、皆様に知恵を出していただいて、多くのご意見がいただけるようになり、中央区役所も時間が限られた中でお答えさせていただきました。

このような意見交換、ダイアログは大事だと思っています。この流れは次の区長にも引き継いでいきたいと思っておりますし、今後ますます、皆様が何か意見を言えば、叶うこともあるというところを実感していただければと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

4年間ありがとうございました。

【三島区政企画担当課長】

ありがとうございました。

最後に次回の会議のご案内です。次回の区政会議は、令和7年5月29日（木曜日）を予定しております。改めて、開催のご案内をさせていただきますが、何卒ご予定のほどよろしくお願い申し上げます。

また、恐れ入りますが、お手元のアンケートをご記入いただき、お帰りの際に、出口にて職員にお渡し願います。もし、後日、郵送での提出をご希望の場合は、返信用の封筒をご用意しておりますので、出口の職員にお声かけください。

以上をもちまして、令和6年度第2回中央区区政会議を閉会させていただきます。長時間ありがとうございました。

お帰りは、エレベーターを降りて左側の時間外通用口からとなりますので、よろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございました。